

第66回日本口腔衛生学会・総会、ミニシンポジウム5、山形

「災害時の歯科保健医療体制をめぐって～平成28年熊本地震等を受けて～」

避難所等歯科口腔保健標準アセスメント (レベル2) のその後と改訂

岩手県保健福祉部健康国保課
岩手県口腔保健支援センター
森谷 俊樹

避難所等歯科口腔保健標準アセスメント（レベル2）Ver2.0までの経過

2013.07.28	○ 「災害時公衆衛生歯科機能について考える盛岡ワークショップ」 (盛岡市) アセスメント票（標準化レベル2）の必要項目について検討
2013.09.28	○ 続・盛岡ワーク「災害時避難所等口腔保健アセスメント標準化を 考えるワークショップ」（横浜市） アセスメント票（標準化レベル2）の素案をもとに各項目の内容 について協議
2013.10.17	○ 避難所等歯科口腔保健アセスメント票（標準化レベル2）暫定案 Ver.1.0の作成
2013.12.13	○ 暫定案Ver.1.0から暫定版Ver.1.1に更新
2015.01.31	○ 暫定版Ver.1.1から正式版Ver.2.0に更新
2015.04.01	○ 日本災害時公衆衛生歯科研究会発足に伴う更新（アセスメント 項目の更新はないことからVer.の変更なし）

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2) Ver2.0

表面

裏面

No.

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2)

※事業実施前記入欄	避難所等の名称	市町村名		
	避難者等の人数 人 (月 日現在)	避難所等の責任者氏名		
評価年月日	西暦 20 年 月 日	連絡先 (電話等)		
評価時在所 避難者等の人数	人 (AM/PM 時現在)	情報収集法 ※実施した方法をすべてチェック <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> 責任者等からの聞き取り (役職・氏名:) <input type="checkbox"/> 避難者等からの聞き取り (人程度) <input type="checkbox"/> 現場の観察 <input type="checkbox"/> 支援活動等を通じて把握 <input type="checkbox"/> その他 ()		
評価者氏名 職種	氏名: 所属: 職種: 1 歯科医師 2 歯科衛生士 3 保健師・看護師 4 医師 5 その他 ()			
※事業実施後記入欄	項目	簡易評価	確認項目 (※確認できれば数値や具体的内容を記載)	特記事項
※事業実施後記入欄	(1) 特に口腔衛生に配慮が必要な対象者		a 乳幼児 (就学前) (約 人 or%), 不明 b 妊婦 (約 人 or%), 不明 c 高齢者 (75 歳以上) (約 人 or%), 不明 d 障がい児者・要介護者 (約 人 or%), 不明 e 糖尿病等の有病者 (約 人 or%), 不明	
	(2) 口腔清掃等の環境	(◎・○・△・×・ー)	a 歯磨き用の水 1 充足, 2 不足*, 3 不明 *(具体的に:) b 歯磨き等の場所 1 充足, 2 不足*, 3 不明 *(具体的に:)	
	(3) 口腔清掃用具等の確保	(◎・○・△・×・ー)	a-1 歯ブラシ (成人用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 a-2 歯ブラシ (乳幼児用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 b 歯磨き剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 c うがい用コップ 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 d 歯歯洗浄剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 e 歯磨ケース 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 f その他 () 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明	
	(4) 口腔清掃状況	(◎・○・△・×・ー)	a 歯磨き 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 b 歯磨清掃 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 c 乳幼児の介助 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 d 障がい児者・要介護者の助 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明	
	(5) 歯や口の訴え・異常	(◎・○・△・×・ー)	a 痛みがある者 1 いる (約 人), 2 確認できない b 食事等で不自由な者 1 いる (約 人), 2 確認できない (齧歯紛失、咀嚼や嚥下の機能低下等による) c 他の問題*がある者 1 いる (約 人), 2 確認できない *(具体的に:)	
	(6) 歯科保健医療の確保	(◎・○・△・×・ー)	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1 あり, 2 ない, 3 不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-①あり (定期的), 1-②あり (不定期) 2 ない, 3 不明	
その他の問題	具体的に: _____			

〈本アセスメント票を活用する前の確認事項〉

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2) について

この標準アセスメント票は、避難生活者の健康維持に影響する歯科口腔保健問題を概括的に把握し、現地災害対策本部 (災害公衆衛生活動の歯科部門) に伝達して支援調整に役立てるための、歯科関係団体の共有する全国統一された標準版の情報収集ツールとして、多くの組織・団体の理解のもとで作成されたものです。

歯科や保健医療の専門職だけでなく、避難所の運営スタッフや支援者が用いて、本票の確認項目をふまえて評価することで、見逃しがちな歯科口腔保健の課題が浮かび上がっています。

本票を用いた情報収集 (アセスメント) にあたって注意すべき点

- ◆ 事前の心構え
 - 1 対象となる避難所等の状況を十分に配慮して手短かに情報収集を実施すること。特に、避難者同士が助けあって運営している避難所の特性を踏まえて、余計な負担をかけないように臨むこと。
 - 2 情報収集は、避難生活の長期化が見込まれる場合に行い、その開始時期は、基本的に超急性期・急性期の終了が見込まれる時点からとすること。
 - 3 現地災害対策本部等からの指示調整に従い、避難所の事前情報を得た上で、本票を用いた情報収集を行うこと。
- ◆ 実施の手順
 - 1 避難所の責任者 (もしくは健康管理担当者等) に身分証などで自己紹介した上で、その目的 (支援活動に先んずる必要性の把握) を告げ、責任者の同意・協力を得て実施すること。
 - 2 情報収集は、各避難所等の状況に見合った方法 (聞き取り・観察など) を選び、避難者及び運営スタッフに負担を与えないよう、短時間で概括的に把握して記載すること。
 - 3 最後に、責任者 (もしくは健康管理担当者等) に、情報収集の終了と結果概要を簡略に報告し (可能なら本票をコピーさせてもらい、写しを手渡しながら再確認) し、この結果を必要な支援につなげる旨と継続的に情報収集に来ることの理解を得ておく。必要に応じて、避難所向けの歯科口腔保健パンフレット・リーフレット等を配布し、情報提供すること。
 - 4 本票の不明な情報は「記載もれ」と区別するため、必ず「不明」等と明記して記載し、現地災害対策本部等の歯科コーディネーター (保健所、市町村または歯科医師会) に届けること。

(注) 本アセスメント票の「避難所等」とは、被災下で一時的に宿泊・食事等の生活をする場所全般を想定しています。したがって、高齢者・障害者・病弱者等の通常の生活にも困難な要介護者等のための福祉避難所、更に広範には被災下での福祉施設から自宅等も含んだ一時的な生活の場所が該当します。

本アセスメント票の記入の仕方がわからない場合や緊急時の要件については、現地災害対策本部等の歯科コーディネーターにご連絡ください。 <連絡先> 所属: _____
氏名: _____
電話番号: _____

〈避難所等の基本情報〉

〈情報収集時の基本情報〉

〈口腔保健に関わる情報〉
 (1) 特に口腔衛生に配慮が必要な対象者
 (2) 口腔清掃等の環境
 (3) 口腔清掃用具等の確保
 (4) 口腔清掃状況
 (5) 歯や口の訴え・異常
 (6) 歯科保健医療の確保

〈その他の問題〉

表面

No. _____

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2)

※事前把握項目	避難所等の名称	市町村名	
	避難所等の人数 人(月 日現在)	避難所等の責任者氏名	
	評価年月日 西暦 20 年 月 日	連絡先 (電話等)	
	評価時在所 避難所等の人数 人(AM/PM 時現在)	情報収集法 ※実施した方法をすべてチェック <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> 責任者等からの聞き取り (役職・氏名:) <input type="checkbox"/> 避難者等からの聞き取り (人程度) <input type="checkbox"/> 現場の観察 <input type="checkbox"/> 支援活動等を通じて把握 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	評価者氏名 職種 氏名: 所属: 職種: 1 歯科医師 2 歯科衛生士 3 保健師・看護師 4 医師 5 その他 ()		
	項目	簡易評価	確認項目 (※確認できれば数値や具体的内容を記載)
※事前把握項目	(1) 特に口腔衛生に配慮が必要な対象者		a 乳幼児(就学前) (約 人or%), 不明 b 妊婦 (約 人or%), 不明 c 高齢者(75歳以上) (約 人or%), 不明 d 障がい児者・要介護者 (約 人or%), 不明 e 糖尿病等の有病者 (約 人or%), 不明
	(2) 口腔清掃等の環境	(◎・○・△・×・ー)	a 歯磨き用の水 1 充足, 2 不足*, 3 不明 *(具体的に:) b 歯磨き等の場所 1 充足, 2 不足*, 3 不明 *(具体的に:)
	(3) 口腔清掃用具等の確保	(◎・○・△・×・ー)	a-1 歯ブラシ(成人用) 1 充足, 2 不足(約 人分), 3 不明 a-2 歯ブラシ(乳幼児用) 1 充足, 2 不足(約 人分), 3 不明 b 歯磨き剤 1 充足, 2 不足(約 人分), 3 不明 c うがい用コップ 1 充足, 2 不足(約 人分), 3 不明 d 歯磨洗剤 1 充足, 2 不足(約 人分), 3 不明 e 歯磨ケース 1 充足, 2 不足(約 人分), 3 不明 f その他() 1 充足, 2 不足(約 人分), 3 不明
	(4) 口腔清掃状況	(◎・○・△・×・ー)	a 歯磨き 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 b 歯磨清掃 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 c 乳幼児の介助 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 d 障がい児者・要介護者の介助 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明
	(5) 歯や口の訴え・異常	(◎・○・△・×・ー)	a 痛みがある者 1 いる(約 人), 2 確認できない b 食事等で不自由な者 1 いる(約 人), 2 確認できない (齧歯紛失、咀嚼や嚥下の機能低下等による) c 他の問題*がある者 1 いる(約 人), 2 確認できない *(具体的に:)
	(6) 歯科保健医療の確保	(◎・○・△・×・ー)	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1 あり, 2 ない, 3 不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-①あり(定期的), 1-②あり(不定期) 2 ない, 3 不明
	その他の問題	具体的に:	

※ 書ききれない情報や関連情報は、特記事項欄に記入してください。 日本災害時公衆衛生歯科研究会 標準 Ver2.0
 ※ 簡易評価の定義: ◎良好・問題なし, ○ほぼ良好・ほぼ問題なし, △やや問題あり, ×大いに問題あり, -: 不明
 (〇〇県・〇〇県歯科医師会・〇〇県歯科衛生士会)

2016年7月30日

横浜ワーク「災害時避難所等口腔保健アセスメント 標準化を考えるワークショップ」開催（横浜市）

〈参加者〉

- 全国から行政、大学、歯科医師会関係者など28名参加

〈研修内容〉

- レベル2アセスメント票（Ver.2.0）について、熊本地震での活用結果を基に検証
- レベル3アセスメント票および個別記録票の検討
- J-SpeedとJD-Speedについての意見交換

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2)

Ver2.0に関する主な意見1

- 避難所の人数について、**昼と夜**の両方を記録する欄を設けてはどうか。
- 避難所のルールとして、晩御飯を給仕する人数がその避難所の人数というルールがある。
人数
- 曜日があるといい。**曜日**によって仕事などで避難者の数が変わる。
- 欄外に記録されていることを、今後の評価項目に入れたほうがいいのか。
- 日中の評価が多いので避難所に人がおらず、(1)と(5)が不明・確認できないケースが多い。
評価基準
- **簡易評価**を記録する時にどれにすればいいのかはかなり悩む。マークよりは漢字の方が気持ちとしてはつけやすいのではないのか。
- 最初は「項目が多すぎて大変なのではないか？」ということだったが、記録できないものはあるが、量としては多過ぎではないとのことだった。

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2)

Ver2.0に関する主な意見2

- 「可能な範囲で記録してください」ということが記載してあると、記録者は楽に記入できるのではないかと。細かいことは重要ではなく、簡易集計表がきちんと作成されることが介入の優先順位を決めるために重要ということを理解すれば、記録者の心が楽になる。 **目的**
- アセスメント票の記入は歯科専門職が実施したが、保健師では難しいのか？という意見もあった。避難所に派遣される保健師は、同じ避難所を4日くらいは連続して観ている。避難所のことはおおよそ見えてくるので、歯科のアセスメントを4日のうちの1日は記録してもらえようにすることができたらいい。保健師をうまく使うことができればよく、それを自治体がやってくれたらよい。日中は人がいないので、夜も評価するという意見もあり、そうなるとなおさら保健師に頼んだほうがいいのか。

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2)

Ver2.0に関する主な意見3

- ◎○△等にチェックを付けるときの根拠がないと書きにくい。また、付けた場合に次にどういうアクションがあるのかという基準があるとい
い。
ガイドライン
- 書き方や説明のシナリオがあったほうがいいのではないか。
- コーディネーターがいてくれて入力してくれれば活用することはできるが、一人しか担当者がいないとそこまでの余力がないので、なかなか使うのが難しいのではないか。
活用方法
- 発災から日が経ってないと記録できないが、日が経つにつれて記録できるようになってくるだろう。レベル2のアセスメントの実施期間は、
発災後3週間くらいまででいいのではないか。概ね状況が見えてわかってきたら、レベル3 (個人アセスメント) に移行したほうがいいのか?
(その場合、レベル2は省略できるか?)

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2) Ver3.0 (案)

表面

裏面

No.

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2)

避難所等の名称	市町村名
避難者等の人数 (総数)	避難所等の責任者氏名
評価年月日 (曜日)	連絡先 (電話等)
評価時在所避難者等の人数	情報収集法 ※ 実施した方法をすべてチェック <input checked="" type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> 責任者等からの聞き取り (役職・氏名:) <input type="checkbox"/> 避難者等からの聞き取り () (人程度) <input type="checkbox"/> 現場の観察 <input type="checkbox"/> 支援活動等を通じて把握 <input type="checkbox"/> その他 ()
評価者氏名 職種	
氏名: 所属: 職種: 1 歯科医師 2 歯科衛生士 3 保健師・看護師 4 医師 5 その他 ()	

項目	簡易評価	確認項目 (※確認できれば数値や具体的内容を記載)	特記事項
(1) 特に口腔衛生に配慮が必要な対象者		a 乳幼児 (就学前) (約 人 or%), 不明 b 妊婦 (約 人 or%), 不明 c 高齢者 (75 歳以上) (約 人 or%), 不明 d 障がい児者・要介護者 (約 人 or%), 不明 e 糖尿病等の有病者 (約 人 or%), 不明	
(2) 口腔清掃等の環境	◎ (良好・問題なし) ○ (ほぼ良好・問題なし) △ (やや問題あり) × (大いに問題あり) - (不明)	a 歯磨き用の水 1 充足, 2 不足*, 3 不明 * (具体的に:) b 歯磨き等の場所 1 充足, 2 不足*, 3 不明 * (具体的に:)	
(3) 口腔清掃用具等の確保	◎ (良好・問題なし) ○ (ほぼ良好・問題なし) △ (やや問題あり) × (大いに問題あり) - (不明)	a-1 歯ブラシ (成人用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 a-2 歯ブラシ (乳幼児用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 b 歯磨き剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 c うがい用コップ 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 d 歯歯洗浄剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 e 鏡歯ケース 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明	
(4) 口腔清掃状況	◎ (良好・問題なし) ○ (ほぼ良好・問題なし) △ (やや問題あり) × (大いに問題あり) - (不明)	a 歯磨き 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 b 鏡歯清掃 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 c 乳幼児の介助 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 d 障がい児者・要介護者の介助 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明	
(5) 歯や口の訴え・異常	◎ (良好・問題なし) ○ (ほぼ良好・問題なし) △ (やや問題あり) × (大いに問題あり) - (不明)	a 痛みがある者 1 いる (約 人), 2 いない, 3 不明 b 食事等で不自由な者 1 いる (約 人), 2 いない, 3 不明 (齧歯紛失、咀嚼や嚥下の機能低下等による)	
(6) 歯科保健医療の確保	◎ (良好・問題なし) ○ (ほぼ良好・問題なし) △ (やや問題あり) × (大いに問題あり) - (不明)	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1 あり, 2 ない, 3 不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-①あり (定期的), 1-②あり (不規則), 2 ない, 3 不明	
その他の問題	例) 歯科保健業務に関するその他の事項、避難所のインフラ・衛生状況に関する事項、歯科や保健業務の他チームに依頼すべき事項		

※ 書ききれない情報や関連情報は、特記事項欄に記入してください。

日本災害時公衆衛生研究会 標準 Ver3.0 (案)

(〇〇県・〇〇県歯科医師会・〇〇県歯科衛生士会)

〈本アセスメント票を活用する前の確認事項〉

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票 (レベル2) について

この標準アセスメント票は、避難生活者の健康維持に影響する歯科口腔保健問題を概括的に把握し、現地災害対策本部 (災害公衆衛生活動の歯科部門) に伝達して支援調整に役立てるための、歯科関係団体の共有する全国統一された標準版の情報収集ツールとして、多くの組織・団体の理解のもとで作成されたものです。

歯科や保健医療の専門職だけでなく、避難所の運営スタッフや支援者が用いて、本票の確認項目をふまえて評価することで、見逃しがちな歯科口腔保健の課題が浮かび上がっています。

本票を用いた情報収集 (アセスメント) にあたって注意すべき点

◆ 事前の心構え

- 1 対象となる避難所等の状況を十分に配慮して手短かに情報収集を実施すること。特に、避難者同士が助けあって運営している避難所の特性を踏まえて、余計な負担をかけないように臨むこと。
- 2 情報収集は、避難生活の長期化が見込まれる場合に行い、その開始時期は、基本的に超急性期・急性期の終了が見込まれる時点からとすること。
- 3 現地災害対策本部等からの指示調整に従い、避難所の事前情報を得た上で、本票を用いた情報収集を行うこと。

◆ 実施の手順

- 1 避難所の責任者 (もしくは健康管理担当者等) に身分証などで自己紹介した上で、その目的 (支援活動に先んずる必要性の把握) を告げ、責任者の同意・協力を得て実施すること。
- 2 情報収集は、各避難所等の状況に見合った方法 (聞き取り・観察など) を選び、避難者及び運営スタッフに負担を与えないよう、短時間で概括的に把握して記載すること。
- 3 最後に、責任者 (もしくは健康管理担当者等) に、情報収集の終了と結果概要を簡略に報告し (可能なら本票をコピーさせてもらい、写しを手渡しながら再確認) し、この結果を必要な支援につなげる旨と継続的に情報収集に来ることの理解を得ておく。必要に応じて、避難所向けの歯科口腔保健パンフレット・リーフレット等を配布し、情報提供すること。
- 4 本票の不明な情報は「記載もれ」と区別するため、必ず「不明」等と明記して記載し、現地災害対策本部等の歯科コーディネーター (保健所、市町村または歯科医師会) に届けること。

(注) 本アセスメント票の「避難所等」とは、被災下で一時的に宿泊・食事等の生活をする場所全般を想定しています。したがって、高齢者・障害者・病弱者等の通常の生活にも困難な要介護者等のための福祉避難所、更に広義には被災下での福祉施設から自宅等も含んだ一時的な生活の場所が該当します。

本アセスメント票の記入の仕方がわからない場合や緊急時の要件については、現地災害対策本部等の歯科コーディネーターにご連絡ください。 〈連絡先〉 所属: 氏名: 電話番号:

日本災害時公衆衛生研究会 標準 Ver3.0

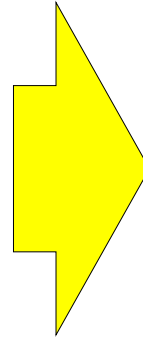
(〇〇県・〇〇県歯科医師会・〇〇県歯科衛生士会)

更新箇所 1

Ver2.0

Ver3.0 (案)

避難所等の 名称	
避難者等の 人数	人 (月 日現在)
評価年月日	西暦 20 年 月 日
評価時在所 避難者等の人数	人 (AM/PM 時現在)
評価者氏名 職種	氏名： 所属： 職種：1 歯科医師 2 歯科衛生士 3 保健師・看護師 4 医師 5 その他 ()



避難所等の 名称	
避難者等の 人数 (夜間を含む)	追加 人 (月 日現在)
評価年月日 (曜日)	年 月 日 ()
評価時在所 避難者等の人数	追加 人 (AM/PM 時現在) 追加
評価者氏名 職種	氏名： 所属： 職種：1 歯科医師 2 歯科衛生士 3 保健師・看護師 4 医師 5 その他 ()

避難者等の人数 → 避難者等の人数 (夜間を含む)

※ 避難者等の人数が、夜間に避難している者も含むことを明確にするため

評価年月日 → 評価年月日 (曜日)

※ 曜日を明確にするため

更新箇所2

Ver2.0

Ver3.0 (案)

※事前把握項目

修正

項目	簡易評価	確認項目 (※確認できれば数値や具体的内容を記載)
(1) 特に口腔衛生に配慮が必要な対象者		a 乳幼児 (就学前) (約 人 or%), 不明 b 妊婦 (約 人 or%), 不明 c 高齢者 (75 歳以上) (約 人 or%), 不明 d 障がい児者・要介護者 (約 人 or%), 不明 e 糖尿病等の有病者 (約 人 or%), 不明
(2) 口腔清掃等の環境	(◎・○・△・×・ー)	a 歯磨き用の水 1 充足, 2 不足*, 3 不明 *(具体的に:) b 歯磨き等の場所 1 充足, 2 不足*, 3 不明 *(具体的に:)
(3) 口腔清掃用具等の確保	(◎・○・△・×・ー)	a-1 歯ブラシ (成人用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 a-2 歯ブラシ (乳幼児用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 b 歯磨き剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 c うがい用コップ 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 d 義歯洗浄剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 e 義歯ケース 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 f その他 () 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明
(4) 口腔清掃状況	(◎・○・△・×・ー)	a 歯磨き 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 b 義歯清掃 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 c 乳幼児の介助 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 d 障がい児者・要介護者の介助 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明
(5) 歯や口の訴え・異常	(◎・○・△・×・ー)	a 痛みがある者 1 いる (約 人), 2 確認できない b 食事等で不自由な者 1 いる (約 人), 2 確認できない (義歯紛失、咀嚼や嚥下の機能低下等による) c 他()の問題がある者 1 いる (約 人), 2 確認できない (具体的に:)
(6) 歯科保健医療の確保	(◎・○・△・×・ー)	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1 あり, 2 ない, 3 不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-①あり (定期的), 1-②あり (不定期) 2 ない, 3 不明
その他の問題		

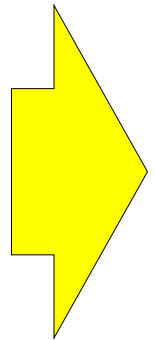
修正

(移動)

削除

修正

削除



※事前把握項目

修正

修正

項目	簡易評価	確認項目 (※確認できれば数値や具体的内容を記載)
(1) 特に口腔衛生に配慮が必要な対象者		a 乳幼児 (就学前) (約 人 or%), 不明 b 妊婦 (約 人 or%), 不明 c 高齢者 (75 歳以上) (約 人 or%), 不明 d 障がい児者・要介護者 (約 人 or%), 不明 e 糖尿病等の有病者 (約 人 or%), 不明
(2) 口腔清掃等の環境	(◎・○・△・×・ー)	a 歯磨き用の水 1 充足, 2 不足*, 3 不明 *(具体的に:) b 歯磨き等の場所 1 充足, 2 不足*, 3 不明 *(具体的に:)
(3) 口腔清掃用具等の確保	(◎・○・△・×・ー)	a-1 歯ブラシ (成人用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 a-2 歯ブラシ (乳幼児用) 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 b 歯磨き剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 c うがい用コップ 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 d 義歯洗浄剤 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明 e 義歯ケース 1 充足, 2 不足 (約 人分), 3 不明
(4) 口腔清掃状況	(◎・○・△・×・ー)	歯磨き 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 義歯清掃 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 乳幼児の介助 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明 障がい児者・要介護者の介助 1 している, 2 ほとんどしていない, 3 不明
(5) 歯や口の訴え・異常	(◎・○・△・×・ー)	a 痛みがある者 1 いる (約 人), 2 いない, 3 不明 b 食事等で不自由な者 1 いる (約 人), 2 いない, 3 不明 (義歯紛失、咀嚼や嚥下の機能低下等による)
(6) 歯科保健医療の確保	(◎・○・△・×・ー)	a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1 あり, 2 ない, 3 不明 b 巡回歯科チームの訪問 1-①あり (定期的), 1-②あり (不定期) 2 ない, 3 不明
その他の問題		() 歯科保健医療に関するその他の事項、避難所のインフラ・衛生状況等に関する事項、医師や保健師等の地チーム

修正

※ 書ききれない情報や関連情報は、特記事項欄に記入してください。 日本災害時公衆衛生歯科研究会 標準
◎良好・問題なし ○ほぼ良好・問題なし △やや問題あり ×大いに問題あり ー不明
(◎県・◎県歯科医師会・◎県歯科衛生士会)

※ 書ききれない情報や関連情報は、特記事項欄に記入してください。 日本災害時公衆衛生研究会 標準
(◎県・◎県歯科医師会・◎県歯科衛生士会)

Ver2.0

<p>修正</p> <p>(6) 歯科保健医療の確保</p>	<p>(◎・○・△・×・ー)</p>	<p>a 受診可 b 巡回歯</p>
<p>修正</p> <p>その他の問題</p>	<p>具体的に</p>	

欄外下の「簡易評価の定義」を削除し、項目(2)～(6)の簡易評価の選択肢に定義を追加
※ 簡易評価の基準をわかりやすくするため

「その他の問題」の具体例を明示
※ 具体例を示して記載しやすくするため

※ 書ききれない情報や関連情報は、特記事項欄に記入してください。 日本災害時公衆衛生歯科研究会 標準 Ver2.0
※ 簡易評価の定義：◎良好・問題なし、○ほぼ良好・ほぼ問題なし、△やや問題あり、×大いに問題あり、ー：不明

Ver3.0 (案) (移動)

<p>修正</p> <p>(6) 歯科保健医療の確保</p>	<p>◎ (良好・問題なし) ○ (ほぼ良好・問題なし) △ (やや問題あり) × (大いに問題あり) ー (不明)</p>	<p>a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等 1 あり, 2 ない, 3 不明</p> <p>b 巡回歯科チームの訪問 1-① あり (定期的), 1-② あり (不定期) 2 ない, 3 不明</p>
<p>修正</p> <p>その他の問題</p>	<p>列) 歯科保健医療に関するその他の事項、避難所のインフラ・衛生状況等に関する事項、医師や保健師等の他チームに伝達すべき事項</p>	

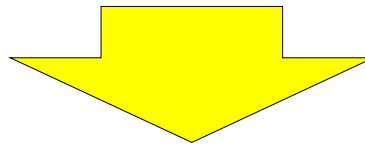
※ 書ききれない情報や関連情報は、特記事項欄に記入してください。 日本災害時公衆衛生研究会 標準 Ver3.0 (案)

項目(3)の確認項目fの削除

※ 確認項目数の整理のため。記録が必要な場合は、特記事項欄または「その他の問題」の欄に記載することとする。

Ver2.0

(3) 口腔清掃用具 等の確保	(◎・○・△・×・ー)	a-1 歯ブラシ (成人用)	1 充足, 2 不足 (約	人分), 3 不明
		a-2 歯ブラシ (乳幼児用)	1 充足, 2 不足 (約	人分), 3 不明
		b 歯磨き剤	1 充足, 2 不足 (約	人分), 3 不明
		c うがい用コップ	1 充足, 2 不足 (約	人分), 3 不明
		d 義歯洗浄剤	1 充足, 2 不足 (約	人分), 3 不明
		e 義歯ケース	1 充足, 2 不足 (約	人分), 3 不明
		f その他 ()	1 充足, 2 不足 (約	人分), 3 不明

削除

Ver3.0 (案)

(3) 口腔清掃用具 等の確保	◎ (良好, 問題なし)	a-1 歯ブラシ (成人用)	1 充足, 2 不足 (約	人分), 3 不明
	○ (ほぼ良好・問題なし)	a-2 歯ブラシ (乳幼児用)	1 充足, 2 不足 (約	人分), 3 不明
	△ (やや問題あり)	b 歯磨き剤	1 充足, 2 不足 (約	人分), 3 不明
	× (大いに問題あり)	c うがい用コップ	1 充足, 2 不足 (約	人分), 3 不明
	ー (不明)	d 義歯洗浄剤	1 充足, 2 不足 (約	人分), 3 不明
		e 義歯ケース	1 充足, 2 不足 (約	人分), 3 不明

項目(5)の確認項目cの削除

※ 確認項目数の整理のため。記録が必要な場合は、特記事項欄または「その他の問題」の欄に記載することとする。

項目(5)の確認項目a、bの選択肢
 1 いる (約 人), 2 確認できない

※ 「確認できない」の定義が、わかりにくいことから修正する。

↓
 1 いる (約 人), 2 いない, 3 不明

Ver2.0

(5) 歯や口の 訴え・異常	(◎・○・△・×・ー)	a 痛みがある者	1 いる (約 人), 2 確認できない
		b 食事等で不自由な者 (義歯紛失、咀嚼や嚥下の機能低下等による)	1 いる (約 人), 2 確認できない
		c その他の問題*がある者	1 いる (約 人), 2 確認できない
		* (具体的に:)	

修正

Ver3.0 (案)

(5) 歯や口の 訴え・異常	◎ (良好、問題なし) ○ (ほぼ良好・問題なし) △ (やや問題あり) × (大いに問題あり) ー (不明)	a 痛みがある者	1 いる (約 人), 2 いない, 3 不明
		b 食事等で不自由な者 (義歯紛失、咀嚼や嚥下の機能低下等による)	1 いる (約 人), 2 いない, 3 不明

削除

修正